

1. 教育目標

化学を基盤として生命現象を探究する人材を育成する。具体的には、理論計算による酵素反応機構の解明、生命科学・医療での有用性が期待される化合物の有機合成、立体選択的触媒の開発等を通じて、自ら問題を見だし、研究を立案、遂行、検証そして発表できる能力を養うことを目的とする。

2. 到達目標

- (1) 生体分子の性質や反応などについて、独創性豊かな研究を立案、遂行できる。
- (2) 生体分子の計算に関する高度な専門知識・技術を修得している。
- (3) 得られたデータの扱いについて、高い研究倫理が培われている。
- (4) 高度な研究能力とその基盤となる豊かな学識が培われている。
- (5) 研究成果を世界に発信し、医学・生命科学の進歩に貢献できる。
- (6) 研究活動によって得た成果を社会に還元し、医学・生命科学の進展に寄与できる。

3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

実験内容のレポート提出（20％）、研究成果の発表（40％）、発表・討議の内容（40％）

4. 教科書・参考書

特に定めない。必要に応じて助言あるいは参考資料を配布する。

5. 準備学習

予習としては、関連文献を熟読し、知識を整理して授業・実習に臨むこと。（1時間以上）

復習としては、講義内容を整理し、まとめておくこと。（0.5～1時間程度）

6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

(第1学年・昼間開講)

【生物有機化学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験研究	酵素反応の化学計算	福島主任教授	月曜/3・4限	通年	4	化学主任教授室
講義	酵素反応機構論 (1)	福島主任教授	火曜/1限	半年	2	化学主任教授室
実験研究	酵素反応の化学計算	福島主任教授	水曜/3・4限	通年	4	化学主任教授室
演習	研究経過報告と論文抄読	福島主任教授 〔江寄准教授〕	木曜/1限	半年	2	化学主任教授室

(第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験研究	酵素反応の化学計算	福島主任教授	月曜/6・7限	通年	4	化学主任教授室
講義	酵素反応機構論 (1)	福島主任教授	火曜/7限	半年	2	化学主任教授室
実験研究	酵素反応の化学計算	福島主任教授	水曜/6・7限	通年	4	化学主任教授室
演習	研究経過報告と論文抄読	福島主任教授 〔江寄准教授〕	木曜/7限	半年	2	化学主任教授室

(第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験研究	酵素反応の化学計算	福島主任教授	月曜/3・4限	通年	4	化学主任教授室
実験研究	酵素反応の化学計算	福島主任教授	水曜/3・4限	通年	4	化学主任教授室
演習	研究経過報告と論文抄読	福島主任教授 〔江寄准教授〕	木曜/1限	通年	4	化学主任教授室

(第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験研究	酵素反応の化学計算	福島主任教授	月曜/6・7限	通年	4	化学主任教授室
実験研究	酵素反応の化学計算	福島主任教授	水曜/6・7限	通年	4	化学主任教授室
演習	研究経過報告と論文抄読	福島主任教授 〔江寄准教授〕	木曜/7限	通年	4	化学主任教授室